

採れたて!!

わかごぼうのニュース

No.76

発行 2020年7月
八尾市パーソナルサポートセンター
大阪府八尾市本町 1-4-1-201
TEL:072-999-7900

色鮮やかなクッキーを写真に収めよう

ここ何年か、写真映える食べ物が、よく紹介されて人気です。なので「写真に映える」をテーマに美味しく、見た目もきれいなステンドグラスクッキーに挑戦しました。

今回、私は手伝い側に回りました。材料をレシピ通りに量って、もう一人の参加者の混ぜている所に、少しずつ量った材料を入れました。少し、作業をしたという感じでした。

出来上がったクッキー生地を寝かせている間、クッキーに使う餡を細かく砕く作業をしました。私もチャレンジしたけれど、餡は意外と固くて、もう一人の参加者に砕く作業は任せました。代わりに、私は砕かれた餡を色



あまり明るいご時世とはいいたいが、それを晴らすパーティーを開く際に、テーブルを彩る一品としていいかもしれないと思いました。

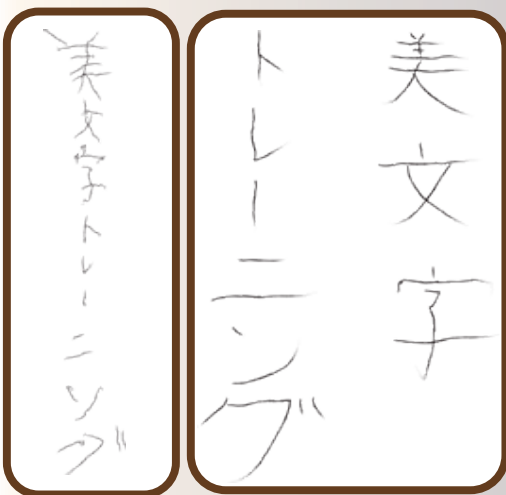


見た自ちゅーしー!

文字は綺麗でありたい

覚えていきますか?先月号に載せた、左手で書く美文字トレーニング。その成果のお披露目です。

○トレーニングを経て
・使わない手で書くと、線はグネグネしてしまいました。何より、課題のフレーズ『美』が本当に難しかったです。
・自粛期間を挟んで、企画の練習を忘れたまま本番を迎えてしまいました。「こうなれば、自力で勝負だ!」と腹をくくって挑みました。けれど、利き手でないと言っ直ぐ線を引くのも難しいものです。自分なりにバランスに気を付けて書きました。



わかごぼうは

失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけた。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんことを学べるから。

八尾市社会的居場所事業

わかごぼうに 来ませんか?

☆参加対象になる方

- ◇社会参加を望みながら不安を感じている方
- ◇これからの自分を考えたい
- 家族以外の人との関わりが薄い方
- ※また、その方のご家族・親族の方もご相談いただけます。(込み合う場合がございましたらご予約下さい。)

今を変えたいけど、どうしたらいいかわからない。そんなあなたに答えるための社会的居場所です。



開催時間：毎週木曜日13:00-15:00
開催場所：わかごぼう
八尾市南本町7-6-23
※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ&参加申込み
電話：072-992-6921
✉ : wakagobou@yaops.jp
電話受付時間：10:00-17:00 (祝日除く月~金)

自分のペースで参加できます。



ワンもあまるや

わかごぼうニュース編集

わかごぼうでは、毎月参加者が企画した活動内容を参加者自身でコンテンツにしたニュースを編集して発信しています。



是非次号もご覧ください

再現！決め手はこしあん

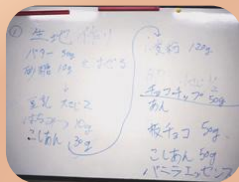
市販で売られているクッキーを再現しました。前企画で作ったクッキーはサクサク系でしたが、今回作るのはしっとり系クッキーです。

いつもと違う点は、レシピは見ずに材料だけを手がかりに、自分たちで想像して再現しました。

僕は、再現するしっとり系クッキーを食べたことがあったので、食感や味を思い出しながら、レシピを想像しました。

使う材料を見たときに、驚いたのが『こしあん』を使う事です。あんこはトッピングに使われているイメージが強かったのですが、そこにヒントがあると思い、注目してオリジナルレシピを作っていました。再現するクッキーの最大の特徴ともいえる、中のしっとり感を出すにはどう

すればいいのか考えたとき、こしあんを混ぜた餡をクッキー生地で包んでみようと思いつき、他の参加者に提案して、実践しました。まるで、大福を作るような作業で、餡がはみ出ないよう包むのにコツが必要でした。出来上がったクッキーは、少しパサパサしていたけど、美味しく出来ました。お菓子作りでレシピを見ずに、想像だけで作るのには中々難しく、大きく失敗することを想像していましたが、試行錯誤も楽しくて成功といえる結果になりました。



目指せ！企画採用！

わかごぼうは、企画を参加者自身で立案します。けれど、立案した全てが通るわけではないです。なぜなら、会議の際に、提案者からコンセプトなどを聞いて、参加者の投票で決まるからです。

前年度、没になった企画は三十個ありました。どうして没になったのでしょうか。わかごぼうの企画は、十二個ほどの系統で分けられています。いくつか例を挙げます。

まずは、調理系。調理系は、没が多いです。理由は、調理時間が活動時間内に収まらないことです。わかごぼうでは、活動時間内に収めることを前提にしています。他の企画であれば、期間を設けます。ですが、調理はできません。なぜなら、生ものを扱っている為、日持ちしないからです。

次に伸びないのが、探訪系です。探訪系は、他の参加者へのプレゼンが肝です。提案者は興味を持っています。ですが、他の参加者はそうではないので、いかに興味を持ってもらえるようなプレゼンをすることが出来るかで、採用されるか大きくわかる企画です。

最後は、テーマトークです。これが中々の曲者。企画にもよく上げられます。けれど、するとすると話は別になります。わかごぼうでは、色々なテーマで話が飛び交っています。とても盛り上がるのですが、いざテーマを決めて話すと今までの盛り上がりか嘘のように何も話さなくなってしまう。記事にするには、テーマが決まっていなくていいと書けません。なので、対策としてテーマを最初に設けずに話す。この対策で話は盛り上がりました。ですが、録音データの内容を書き起こしてみると、記事を読んでもわかる内容の物ではないことが多いです。だから、テーマトークはなかなか採用されにくいのです。

と、ここまで没理由をピックアップして書いてきましたが、これをヒントに、今年度の企画採用を目指していきましょう。

夏の雑草との格闘

梅雨前線がまだまだ活発で、夏の本格的な暑さや強い日差しが、我々に振りまく前のことでした。

僕は、早朝からわかごぼうが借りている畑がある農園に草刈りに行きました。初めての農園作業です。

その日の天気は曇り。厚い雲がまだらに点在する空は、朝から活動する喜びと草刈りの大変さへの憂鬱さがない交ぜになった僕の気分を表しているようでした。一緒に作業する二人と合流し、畑に向かいました。

諸事情で放置された畑は、雑草の群生地になっていたのでは、と着くまで想像していました。

けれど、『道路の拡張工事』が畑の位置と被った為、背の高い雑草もなくて見た目にはそんなに酷くありませんでした。そう、見た目の上では。実際に作業に取り掛ると、根が深くまで達していて、かなりの重労働を強いられる環境でした。普段使わない筋肉を使い、スコップ片手に戦い抜きました。足や腕はヘトヘト、服や靴は汗と泥でドロドロになりました。

またしたいかと聞かれたら、素直に領けないかもしれません。けれど、普段しない活動は、達成後の満足感があり、その日は充実した気分を感じられたので良かったです。

わかごぼう



来月の予定は、外出自粛緩和で夏服を買うに行く企画やバターミルクを使ったアイリッシュソーダブレッド、手軽に携帯できる紙石鹸、つくりやCGのような絵が描けるボールチェーンアート、ジグソーパズルなどです。もちろん、いつものボランティアやテーマトークもありますよ。

みんな似ている。ひとりにはよくない。つながる力を身に着けよう。八尾市社会的居場所わかごぼう新規参加者募集中です。